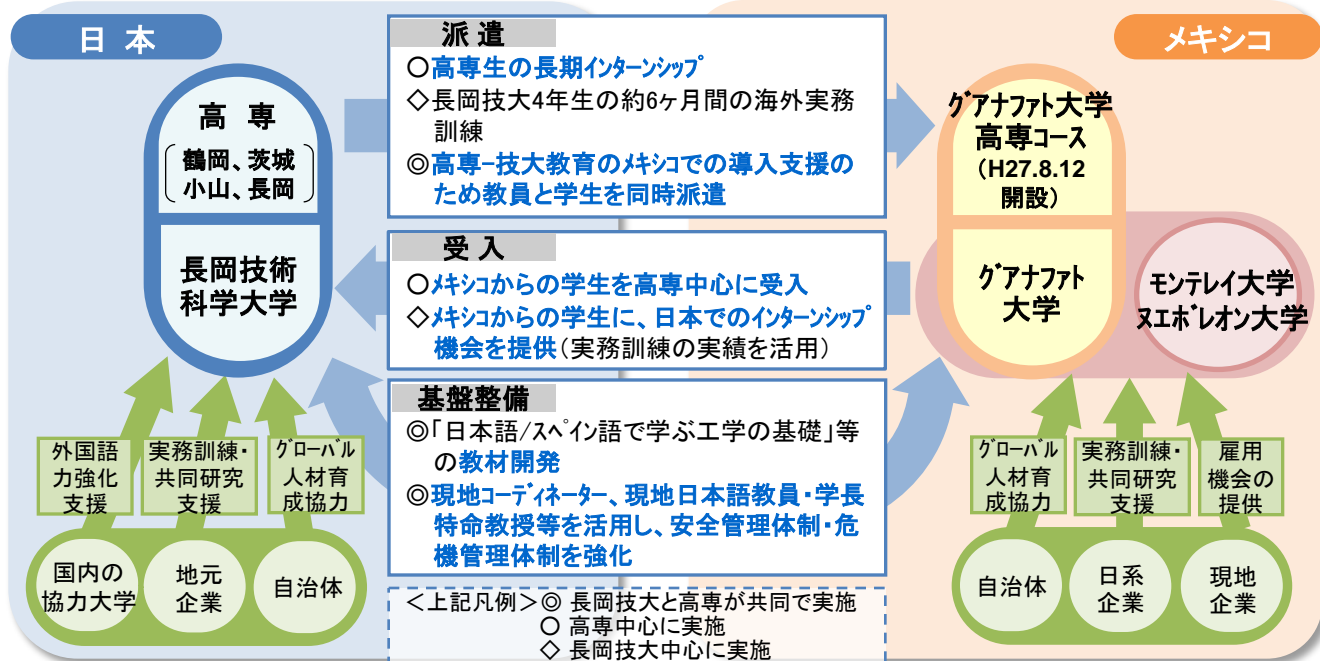


【事業の名称】(選定年度27年度・主たる交流先(中南米))

『NAFTA生産拠点メキシコとの協働による15歳に始まる技術者教育モデルの世界展開』

【事業の概要】

本事業では、日本の高等専門学校(高専)をモデルとしてメキシコの大学等との協働により、高専一技大型の技術者教育モデルを、日墨双方の学生が両国を段階的・継続的に往来しつつ交流する中で成長する双方向型へと深化させ、国際協働技術者教育モデルとして確立させる。



【交流プログラムの概要】

- ① 日本からメキシコへ：高専生の長期インターンシップと学部学生の海外実務訓練
- ② メキシコから日本へ：高専からの留学とインターンシップ
- ③ 日墨ツイニング・プログラム、ダブルディグリー・プログラムの充実
- ④ 高専一技大型の技術者協働教育モデルの基礎となる教育方法論、技術者教育教材の開発

(補足)
実務訓練とは、本学が受入機関と共同開発した実践的技術者教育プログラムに基づく長期派遣制度(約6ヶ月間)のこと。

【本事業で養成する人材像】

本事業では、日墨双方の学生が数度にわたる海外経験を通じて同年代の相手国学生との交流により、世界のレベルを肌で感じ、多様な価値観を理解し、地球規模での課題解決の重要性を認識することにより、課題解決に向けた研究開発で活躍できる指導的・実践的技術者を養成する。

【本事業の特徴】

高専一技大型の技術者教育モデルが移転可能な工学教育モデルとして確立され、教育方法論の特徴やそれを支援する教育ツール(専門教材、日本語教材、多言語環境への対応等)を備えた体系となり、将来的に世界展開を可能とする。

【交流予定人数】

	H27									H28									H29									
	A	Bo	Br	Ch	Co	M	Pa	Pe		A	Bo	Br	Ch	Co	M	Pa	Pe		A	Bo	Br	Ch	Co	M	Pa	Pe		
学生の派遣						17									24										25			
学生の受入						0									20										25			
	H30									H31																		
	A	Bo	Br	Ch	Co	M	Pa	Pe		A	Bo	Br	Ch	Co	M	Pa	Pe											
学生の派遣						24									25													
学生の受入						26									25													

A:アルゼンチン Bo:ボリビア Br:ブラジル Ch:チリ Co:コロンビア M:メキシコ Pa:パナマ Pe:ペルー